

■研修 (国語)科 ヒット授業開発!
学び合いを生かす授業案を検討しよう

“学び合い”を生かすヒット授業案づくり

(国語)科のヒット授業案

教科名 国語2年

単元・題材名 第5章 いにしえの心を訪ねる
仁和寺にある法師—「徒然草」から

授業のねらい・目標

注釈をもとに現代語訳をし、「仁和寺の法師」の行動をとらえる。

(大まかな流れ)

課題1(基礎の課題)

- ◎「仁和寺にある法師」を音読する。
 - ・歴史的仮名遣いに注意しながら読む。
 - ・繰り返し音読し、古文特有の言葉遣いやリズムをとらえる。

課題2(ジャンプの課題)

- ◎注釈をもとに現代語訳をし、仁和寺の法師はどのような勘違いをしたのかをとらえる。
 - ・登場人物を確認する。
 - ・省略された助詞を補う。
 - ・注釈の他、挿絵(石清水八幡宮境内図)も参考にする。

この授業の見どころ(学び合いをどう生かすかなど)

この話は、法師が自分の誤りに気づかず、得意げに話をしているところに面白さがある。今まで学習してきた古文の教材には、現代語訳が載っていたが、本教材には部分的にしかなかった。したがって、生徒にとっては、初めて自分で現代語訳をすることになる。初めは「難しい」「わからない」という声しか出なかったが、4人グループでの学習をすすめる中で、注釈だけでなく挿絵に注目したりしながら、話を理解していった。そして、法師の勘違いに気がついた生徒・グループから笑いが出始め、楽しく現代語訳をすることに組み合わせた。

これを入口に、次時には「なぜ仁和寺の法師は失敗したのか」「この法師の言動について筆者である兼好法師はどのようにとらえているか」等、内容について深めることができた。

授業を担当する人

平松靖之